

モバイルカリング～9年間の実績と考察～



釧路総合振興局森林室森林整備課 春田 俊輔

取組の背景と目的

- 道有林釧路管理区では、エゾシカによる森林被害の増加や有害駆除等を行うハンターが減少していることから、森林管理者による安定的、効率的な捕獲を行うことを目的とした「モバイルカリング」を考案しました。
- 9年間（平成23年度～令和元年度）の実績から、捕獲頭数が増える条件とは何かを考察しました。



被害にあった天然林

取組の内容と捕獲実績

- 「モバイルカリング」とは、森林管理者による厳重な安全管理のもと、車で移動（モバイル）して、エゾシカの個体数調整（カリング）を行う捕獲手法です。

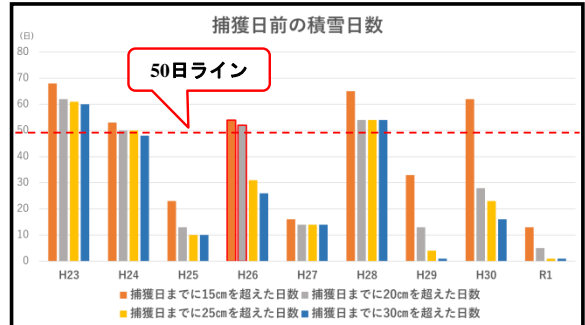
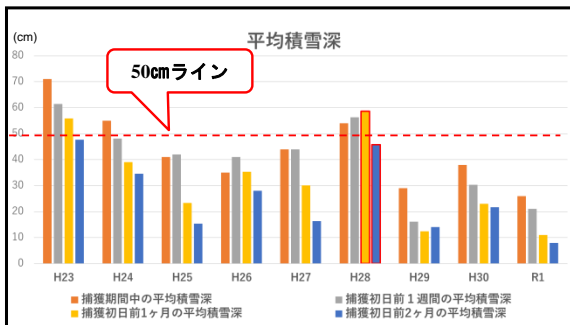


年度	捕獲日数（日）	捕獲頭数（頭）	捕獲頭数（頭/日）
H23	10	41	4.1
H24	14	66	4.7
H25	13	51	3.9
H26	11	75	6.8
H27	13	36	2.8
H28	10	69	6.9
H29	10	12	1.2
H30	12	47	3.9
R1	8	24	3.0

9年間（H23年度～R1年度）の捕獲実績

考察

- 捕獲頭数が増える条件として、次のとおり気象条件が大きく関わることが考えられます。
 - ①捕獲初日から1～2ヶ月前までの平均積雪深が多い。
 - ②積雪深が20cmを超えた日数が50日以上続いた。など



- 気象条件以外としては、
 - ①餌まき日数を増加させる。
 - ②昼間に誘引させるため、夜間はコンパネで餌に蓋をする。
 - ③同じ場所での捕獲は1日以上上げる。
 など、給餌等を改善させた事で、捕獲頭数の増加に繋がることが確認できました。

まとめ

- 今後も捕獲にあまり適さない気象条件下で捕獲頭数を伸ばす方法を検討していきます。
- エゾシカは環境によって生態が変化する生き物であるため、柔軟な対応が必要です。



コンパネで蓋をした餌